

恋路ヶ浜ハッピーエンド 恋愛小説を配信

2014年12月08日

ツイート 0

おすすめ 0

g+1 0



恋愛小説の舞台となっている恋路ヶ浜

ANA 3月ご搭乗分まで発売中! 旅割75

東京▶大阪(伊丹)	8,700円~
東京▶福岡	10,000円~
東京▶札幌	9,500円~
東京▶沖縄	12,000円~

*掲載運賃は、11/20時点の3/28ご搭乗分までの運賃額です。

企画・制作 読売新聞社広告局

渥美半島の先端にある観光名所「恋路ヶ浜」(田原市伊良湖町)を舞台にした恋愛小説の連載がインターネットで掲載されている。実話に基づく物語で、伊良湖周辺の観光事業者でつくる「伊良湖岬観光協議会」の取り組み。同協議会では「恋路ヶ浜を文字通り恋愛成就の地としてPRしたい」と意気込みを示している。

伊良湖岬や恋路ヶ浜は島崎藤村の「椰子(やし)の実」の詩や日本の灯台50選に選ばれた伊良湖岬灯台などで知られる風光明媚(めいび)な人気観光地。最近では「恋人の聖地」として売り出している。しかし、「許されぬ恋に落ちた高貴な男女が隠れ住んだが、2人とも海に身を投げて貝になった」「カップルで訪れると別れる」といった言い伝えがあり、PRに影を落としていた。

そこで、同協議会では新しくハッピーエンドの物語をつくって広め、暗いうわさを払拭しようと発案。田原市出身の作家で豊橋市在住の日原いずみさん(41)に執筆を依頼し、配信を始めた。タイトルは「恋路ヶ浜LOVE(ラブ)ストーリー」。農業を志して東京から来た男性と大阪出身の女性が渥美半島で出会い、新しい人生をスタートさせた実在のカップルがモデルだ。

日原さんは「古里・渥美の自然や暮らしを盛り込み、リアリティーのある中編小説にしたい」と話す。毎月8のつく日に更新。先月28日時点で第五話まで掲載されているが、いつまで続くかは未定という。閲覧は無料で、「渥美商工会岬プロジェクト」で検索。問い合わせは同協議会の渡辺幹和さん(0531・35・6521=旅館・恋路ヶ浜 黒潮)。